

年間授業計画様式

東京都立町田工科高等学校 令和5年度 教科：家庭科 科目：家庭総合 年間授業計画

教科：家庭科 目：家庭総合 単位数：2単位

対象学年組：第3学年1組～5組

教科担当者：（1組：田村・中島）（2組：田村 中島）（3組：田村 亀井）（4組：田村 中島）（5組：田村 亀井）

使用教科書：（新家庭総合 パートナーシップでつくる未来 実教出版

使用教材：（最新生活ハンドブック 使用&成分表）

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4 月	オリエンテーション	○家庭総合の学習意義・年間の授業内容・評価基準を理解させる。		3
	衣服の起源	○人と衣服のかかわりについて考えさせる。起源には諸説あるが、歴史的な背景と結びつけて理解を深めさせる。	○衣服の起源について歴史的な背景と結びつけながら興味をもって学ぶことができたか	
	ライフステージと衣服	○ライフステージにおける衣服の特徴について理解させる。特に青年期から成人期になっていく高校生において、TPOに合わせた服装の重要性について理解させる。	○ライフステージごとの衣服の特徴を理解したか	
	エプロン製作（パーツごとに切る）	○一枚の布をパーツごとに裁断させる。裁断したものがエプロンのどこの部分になるのか全体像を考えながら作業できるようにさせる。	○エプロンの全体像を捉えながら、各パーツを裁断することができたか	

指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
<p>5月</p> <p>衣服の素材（繊維）の種類と特徴</p> <p>裁縫道具の名称</p> <p>エプロン製作 ・肩紐づくり ・ポケットを本体につける</p> <p>ミシンの名称と使い方</p>	<p>○繊維の特徴による衣服の用途を考えさせ、日常生活の中でより適した衣服の選択ができるように指導する。</p> <p>○裁縫道具の名称と使用方法について理解させる。</p> <p>○アイロンのかけ方、待ち針の留め方、端ミシンのやり方について理解させる。</p> <p>○ミシンの各名称と上糸、下糸のかけ方について理解し、正しく糸をかけることができるように指導する。途中でミシンが動かなくなった時に対処できるように指導する。</p>	<p>○繊維の種類と特徴を理解することができたか</p> <p>○裁縫道具の名称を覚え、適した使用方法を理解できたか</p> <p>○綿の生地に適したアイロン温度、待ち針の役割、端ミシンのかけ方について理解できたか</p> <p>○ミシンの名称を覚えたか、糸を正しくかけることができたか、トラブルがあった時に対処できたか</p>	4

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
6 月	<p>衣服の管理（洗濯表示・洗濯の方法）</p> <p>衣服のコーディネート（色彩）</p> <p>エプロン製作 ・本体の脇縫い ・裾上げ</p>	<p>○洗濯時の取り扱い表示の意味を理解させ、衣服ごとに適した洗濯ができるように指導する。</p> <p>○色相環について教え、類似色と反対色が与える印象について理解させ、ファッションのコーディネートについて考えさせる。</p> <p>○エプロン本体の脇を三つ折りし、まっすぐ縫うことができるように指導する。 ○裾の処理の仕方を理解させる。</p>	<p>○実際に自分の着ている服の表示を見ながら、表示の意味していることが理解できたか</p> <p>○色相環を意識しながらファッションのコーディネートについて考えることができたか</p> <p>○三つ折りがきれいにできたか、裾の処理の仕方を理解し、製作することができたか。</p>	4

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
7 月	<p>1学期の復習（学期末考査）</p> <p>SDGsの視点から衣服について考える</p>	<p>○衣生活について復習させ、学習の定着をはかる。</p> <p>○ファストファッションが安い理由について考えさせる。 ○限りある資源について考えながら服選びができるように指導する。</p>	<p>○衣生活の分野について学習の定着をはかることができたか</p> <p>○ファストファッションが安い理由について考えることができたか</p>	2

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
8 月				

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
9 月	<p>現代の食生活と課題について</p> <p>五大栄養素（炭水化物）について</p> <p>エプロン製作、完成 ・腰ひもつけ</p>	<p>○現代の食生活の傾向を知り、問題点を考えさせる。</p> <p>○体の中で炭水化物の働きについて理解し、炭水化物を多く含む食品は何かわかるように指導する。</p> <p>○エプロンに腰ひもをつけて、作品を最後まで完成させることができるように指導する。</p>	<p>○現代の食生活の傾向を理解できたか、自分の食生活と結びつけながら課題について考えることができたか。</p> <p>○炭水化物の働きについて理解し、多く含む食品がわかったか</p> <p>○作品を最後まで完成させることができたか</p>	4

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
10 月	<p>五大栄養素（脂質・たんぱく質）について</p> <p>食品衛生（食中毒予防）について</p> <p>調理実習1回目</p>	<p>○体の中で脂質・たんぱく質の働きについて理解し、脂質・たんぱく質を多く含む食品は何かわかるように指導する。</p> <p>○食品の安全に配慮した食品管理ができるように指導する。 （食中毒の種類と予防法を理解させる。）</p> <p>○調理実習を通して、基本的な調理技術を身につけさせる。</p>	<p>○脂質・たんぱく質の働きについて理解し、多く含む食品がわかったか</p> <p>○食中毒の予防について理解できたか</p> <p>○調理実習を通して、基本的な調理技術を身につけることができたか</p>	4

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
11 月	<p>五大栄養素（ビタミン・ミネラル）について</p> <p>食品群別摂取量について</p> <p>調理実習 2 回目</p>	<p>○体の中でビタミン・ミネラルの働きについて理解し、ビタミン・ミネラルを多く含む食品は何かわかるように指導する。</p> <p>○年齢や生活強度に応じた食事の量・バランスについて指導する</p> <p>○調理実習を通して、基本的な調理技術を身につけさせる。</p>	<p>○ビタミン・ミネラルの働きについて理解し、多く含む食品がわかったか</p> <p>○年齢や生活強度に応じた食事の量・バランスについて理解できたか</p> <p>○調理実習を通して、基本的な調理技術を身につけることができたか</p>	4



	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
12 月	2学期の復習（期末考査）  日本の食文化について	○食生活について復習させ、学習の定着をはかる。  ○日本の食文化について歴史的背景と共に理解させる。	○食生活の分野について学習の定着をはかることができたか  ○日本の食文化について興味をもって学ぶことができたか	3

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 月	住生活（賃貸物件の見方・計算の仕方）について	○賃貸物件の広告の見方を学び、入居時に必要な費用を計算できるように指導する。ライフスタイルに合わせた物件選びができるように考えさせる。	○賃貸物件の広告を見ながら、必要なお金の計算をすることができたか	3

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
2 月	家庭経済と資産運用	<p>○人生におけるライフイベントにはいくら費用がかかるのかを知り、資金づくりの見通しをもつ。預貯金以外にも資産運用法があることを学ぶ。資産運用におけるリスクとリターンについて理解させる。  イデコとニーサの仕組みについて理解させる。</p>	<p>○人生における費用の見通しをもつことができたか。  ○資産運用法について学ぶことができたか。</p>	3

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
3 月				